

令和４年１２月定例会行政報告

１．一般行政報告

- １）要望等について
- ２）寄贈金品について
- ３）作況状況について
- ４）学校法人岩谷学園について
- ５）令和４年度建設工事の発注状況について

令和４年１２月１２日

中 標 津 町

貴重な時間をお借り致しまして、9月定例会以後の行政報告を申し上げます。

1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

1) 最初に、管内4町における要請活動であります。

9月24日、本町を会場に開催されました「自由民主党北海道第七選挙区支部 令和4年度根室管内移動政調会」におきまして、支部長である伊東 良孝 衆議院議員 及び 主催者の各道議会議員に対し、大規模地震が切迫している中、災害時における中標津空港を活用した物資の輸送体制の構築をはじめ、地域医療の確保と病院経営健全化のための支援措置、酪農・畜産業の振興対策と生産基盤整備などについて要請致しました。

なお、この要請には、議長も出席したところであります。

2) 次に、北方領土隣接地域 振興対策 根室管内市町 連絡協議会としての要請活動であります。

9月28日に、岡田内閣府特命担当大臣が北方領土視察のため隣接地域を訪問された際、根室市で開催されました関係団体との要望・懇談会におきまして、外交交渉を支える国民運動としての返還要求運動の推進、隣接地域における振興対策等の推進、北方四島との交流等事業の推進と拠点機能の整備、北方地域元居住者に対する援護支援などについて要請致しました。

なお、この要望・懇談会には議長の出席をいただいております。

1 2月1日には、北方領土隣接地域 振興対策 根室管内市町 連絡協議会が主催して東京都において実施しました「北方領土返還要求中央アピール行動」として、根室管内や全国の返還運動関係者、国会議員らと共に、東京都心部での街頭PR行進を行い、引き続き、岸田内閣総理大臣と岡田内閣府特命担当大臣を訪問し、国民世論の喚起高揚と、返還運動の推進を要請致しました。

なお、街頭PR行進には、議長も出席したところであります。

3) 次に、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会による要望活動であります。

1 1月9日、国土交通省、財務省及び地元選出国会議員に対し、「北海道横断自動車道根室線の整備促進に関する要望」として、釧路・根室地域の生活、産業を守り、生産性・競争力の向上を図るためには、安全で安定した物流と人の流れを確保することが不可欠であることから、尾幌糸魚沢道路の整備促進、「別保～尾幌」間の計画段階評価の促進を要望致しました。

4) 次に、北海道酪農振興町村長会議 及び 北海道公社営畜産事業推進協議会としての要請活動であります。

1 1月16日、農林水産省及び道内選出国会議員に対し、北海道の酪農・畜産においては、大規模化が進む一方で、担い手農家の減少や高齢化の進行、大規模な自然災害の発生や国際情勢の変化、更には新型コロナウイルスによる生産・消費への影響などにより、酪農の経営危機や経営意欲の減退を招くなどの現状を訴え、「北海道における酪農畜産対策に関する要望」として、経営安定対策等の推進、

生産基盤の維持と強化、担い手への支援強化等の推進などについて要請致しました。

5) 次に、北海道道路整備促進協会としての要請活動であります。

北海道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害や道路施設の老朽化など多くの課題を抱えていることから、11月18日、国土交通省、財務省及び地元選出国會議員に対し、「道路整備予算の確保及び高規格道路等道路整備促進に関する提案・要望」として、経済を支える信頼性の高い高規格道路網の整備、防災・減災、国土強靱化、安全・安心な暮らしや地域産業の活性化を支える道路の整備などについて要請活動を実施致しました。

6) 次に、医師確保に係る要請活動であります。

10月6日に、札幌医科大学を訪問し、町立中標津病院の現状と診療体制を報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行い、地域センター病院としての役割と地域医療確保を図るため、医師の派遣について要請を行いました。

2. 寄贈金品について

次に、2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、9月定例会後に、

現金で	3 件	1, 1 2 1, 0 0 0 円
物品で	5 件	
ふるさと納税で	1, 2 5 9 件	1 7, 7 9 5, 0 0 0 円

の寄贈がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

3. 作況状況について

次に、3 点目は、作況状況についてであります。

はじめに、飼料作物の状況でございますが、牧草の 1 0 アールあたりの収量は、1 番草で平年比 1 1 3 %、2 番草では 1 1 7 %となり、今年は 1 番草、2 番草ともに、平年を上回りました。

次に、露地栽培の飼料用トウモロコシでございますが、台風等による倒伏被害はなかったものの、低温による生育の停滞や病害により、1 0 アールあたりの収量は、8 4 %と平年比を下回る結果となりました。

次に、畑作物ですが、6 月以降の天候不順により思うように肥培管理ができず、出荷量は軒並み減少したところです。

販売価格では大根とブロッコリーを除き昨年を下回る状況であります。

まず、馬鈴薯で澱粉原料用でございますが、作付面積は前年とほぼ変わらない中、出荷量で 83%と昨年を下回っており、澱粉価がやや低下したことなどから販売金額で 67%と減収となりました。

次に、生食・加工用でございますが、前年比で作付面積が 110%と増加しましたが、出荷量では 87%、販売額においても 76%と前年を下回りました。

種子用につきましては、作付面積は前年とほぼ変わらない中、出荷量では 104%と前年を上回りましたが、販売額では、99%と前年を若干下回る結果となりました。

馬鈴薯の合計では、作付面積で前年比 99%に対し、販売金額では、前年比 75%となり、過去3ヶ年の平均値を下回る結果でありました。

次に、てん菜でございますが、作付面積が前年比で 99%とほぼ同様でしたが、出荷量で 83%、販売額は 94%と前年を下回る結果となりました。

次に、大根でございますが、作付面積が前年比で 102%と昨年を上回り、出荷量では 92%と下回りましたが、平均単価が前年比 132%となったことにより、販売額は 121%と単価が高く推移した事で昨年を大きく上回る結果となりました。

次に、ブロッコリーでございますが、作付面積は前年とほぼ変わらない中、出荷量が 97%と若干減少しましたが、平均単価が前年比 108%と若干高くなったことに伴い、販売額は 105%と前年を上回る結果となりました。

以上が主要作物の作況であります。

今年は総じて6月の長雨等、気象条件に恵まれず、昨年を若干下回る状況ではありましたが、生産された作物の品質については申し分のない出来であったと聞いておりますことから生産者及び関係者皆様の努力により、中標津産ブランドの確立が進んでいるものと感じております。

次に生乳生産についてであります。10月末現在、前年同期と比較して約3,950トン、率にして3.1%の増となっております。

ご存じのとおり、新型コロナウイルス禍に伴う需要減で脱脂粉乳などが在庫過剰となっていることから、2022年度の生乳生産目標を原則前年度並みとする生産抑制を行っているところであり、さらに11月からの乳製品価格の値上げなどによる消費減退が懸念されることから、さらなる生産抑制を行っており、2023年度においても2年連続となる生産抑制を行うこととされております。

全国的に酪農家の離農が増加傾向にあり、北海道の生乳生産の占める割合が50%を超える中、今後も北海道酪農に依存せざるを得ない状況にある中で、生産抑制だけでなく、円安や国際情勢の緊迫化に伴う飼料価格の高騰、子牛などの価格下落など、先行きが見えず厳しい状況ではありますが、国際情勢の安定による農業生産資材の安定的供給及びコロナ禍で落ち込んだ消費の早期回復を願うところです。

これから本格的な冬場を迎え、暴風雪をはじめ、異常気象など、予断を許さない状況ではありますが、今後も適切な乳牛管理の下、生産抑制の最中での計画数量達成を期待するところです。

4. 学校法人岩谷学園について

次に、4点目は、学校法人岩谷学園についてであります。

ひがし北海道日本語学校につきましては、今年度は最終的に9名の学生が入国し、中標津での生活に着実に順応しながら、1年次の授業が順調に進められております。

町においては、11月の「しるべつとまつり」とのコラボ企画として、独立行政法人 国際協力機構（JICA）と「^{ジャイカフェ}JICAfe 2.0 in 中標津」を共催し、留学生による日頃の学習成果の発表の一環として、母国の紹介が行われ、当町のベトナム人地域おこし協力隊員とともに、町民との多文化交流の機会を創出したところです。

なお、学園側では留学生招致に向けた海外での広報活動を3年振りに再開し、来年度の入学定員50名は既に確保され、入国に向けた手続きが今後進められると伺っております。

また、令和6年4月に開校を予定している専門学校につきましては、先月21日に開催された「北海道私立学校審議会」において、設置計画が無事に承認されました。

本承認により、専門学校の開設に向けた計画は大きく前進し、いよいよ実行段階に入ります。

審議結果の正式通知もありましたので、今後、専門学校に供する町有地について「土地使用貸借契約書」を締結し、関係機関が一層連携を密にして、校舎の建設工事と学校説明会等の広報活動を進めてまいります。

5. 令和4年度建設工事の発注状況について

次に、5点目の令和4年度建設工事の発注状況についてですが、令和4年11月28日現在でご報告申し上げます。

令和4年度の発注計画は、件数177件、金額にしまして、40億2,147万円ほどでございます。

これに対し、発注状況ですが、件数で168件、率にしまして、95%となっております。

金額では、39億7,764万円、率にしまして、99%の発注となっているところであります。

以上、5点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。